



ナイス福岡 会報

くすのき

2021年4月
第 309 号



「クサイチゴの花を見ると、春と言うよりは初夏を感じてしまいますが…。今頃、陽当たりの良い道端などで真っ盛りなので描きました。」

金瘡小草 (キランソウ)、草苺 (クサイチゴ)、烏野豌豆 (カラスノエンドウ)、垣通し (カキドオシ)、みんな春を彩る大切な一員ですね。赤くておいしい実を提供してくれる草苺、見かけると、つい、味わってしまいます。編集部

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号

田村の自宅内 TEL : 092-844-4381

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会(119回)は

☆日時 4月17日(土) 10時から12時まで、
コロナウィルスの拡散防止のための用心しつつ
開催します。

公園の駐車場もすべて従来通り利用できます。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160〔田村の携帯〕

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

4月18日（日）5月16日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

4月25日（日）5月23日（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時 間：9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

5月2日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

5月8日（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ボート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森 健児）

5月9日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

5月4日（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

4月25日（日）
集 合：黒崎公園（大牟田市）
第一公園グランド
時 間：9:00～12:00
問合せ：090-7446-9047（野田達行）
一般参加受け付けます。

福岡植物友の会

4月18日（日）
四王寺山（太宰府市他）
問合せ：佃 昇（092-662-2983）
要予約 参加は有料

久留米の自然を守る会

5月16日（日）
樹木の名札付け（観察会）
集 合：高良大社階段下・望郷亭前
時間：9:30～13:30
昼食持参
問合せ：0942-43-7959（河内）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

5月1日（土）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:00（早めに終わるか
もしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200円
コロナ対策：ブログにて確認

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きもの情報を載せています

シロダモ 三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

和白干潟を守る会 主催

4月24（土）
定例会議
時 間：12:00～14:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

4月24（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

ツチハンミョウ幼虫集団
三国・松永

2021年3月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、3月1日(旧暦1月18日)～3月31日(旧暦2月19日)までのデジカメ日誌です。



3月8日(旧暦1月25日) 筑紫野市山神ダム
この冬、牛頭ダムや当地に何度か足を運んだが、なかなか会えなかった、ベニマシコ♀である。今年も赤の鮮やかなオスには会えなかった。28年前に北海道春国岱で出会った、繁殖期のみはかなり赤かったような・・・



3月8日(旧暦1月25日) 筑紫野市山神ダム
カテンソウを観た。赤紫の蕾から白い雄しべが星型に現れ、やがて肘をぱっと開くように雄しべが伸びると、花粉が煙のように舞った。雌花は別にあるようで小さくよくわからない。



3月15日(旧暦2月3日) 鳥栖市河内町
土手にアマナが咲いていた。11時頃に見たときは、日差しはあったがまだ開いていなかった。そこで、1時頃もう一度寄ってみると、今度はちらほらと咲いていた。



3月15日(旧暦2月3日) 鳥栖市河内町
大山祇神社の近くで、風に乗って私にまとわりついてきた。左は、ハマキホソガの仲間のように、三点確保の体制で止まる形が面白い。右はマエグロヒメフタオカゲロウのようだ。どちらも1cm足らずの小さな命である。



3月18日(旧暦2月6日) 佐賀県三養基郡基山町
高校同級生のI君が、この花の保護活動をしていると、最近知った。12年前の4/25に観た時は、それこそ翁の髪のような種の付いた綿毛が、沢山風になびいていたのを思い出す。



3月23日(旧暦2月11日) 福岡市中央区西公園
今年の日本で一番早い桜の開花は、3/12 福岡だそう。この日の西公園は満開の見ごろであった。密を避けつつ桜を見上げ、足元のスマレ、キランソウ、ムラサキケマンなど楽しんだ。ここにはまだカンサイタンポポも健在。

春日公園自然観察会 報告

令和3年3月17日(土)【参加者数】5人

【担当者】、田村耕作

コロナウイルスの拡散防止対策のために、自然観察会を中止していましたが、拡散が落ち着き始めた様子から、2020年6月の観察会から開催しています。しかし、再び拡散が広がっていますが、よりコロナ対策に配慮しつつ、園内を散策しました。

(報告と写真/田村耕作)

観察コース

自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～カスケード～噴水広場～自然風庭園～自然あそび館

観察内容、早春の花スミレの仲間を中心に観察

植物 タネツケバナ、ミチタネツケバナ(帰化)、カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウ、アセビ、ネジキ、ヤマザクラ、イロハモミジ、スズカケノキ

野鳥 キジバト、アオバト、ダイサギ、コゲラ、スズメ、ヤマガラ、シジュウカラ、ハクセキレイ、メジロ、カワラヒワ、ヒヨドリ、ウグイス、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、アヒル、その他の生きもの ルリタテハ、

感想(参加者の声)

- ・アブラナ科のタネツケバナとミチタネツケバナ(帰化)の区別をすると共に、種の詰まった鞘に触れると、種が飛び散ることが理解できた。面白い。
- ・アオバトを初めて観察できた。
- ・色々なスミレがあり、花が美しかった。

観察会風景



ミチタネツケバナの鞘



アオバト♂



ノジスミレ



アリアケスミレ



ルリタテハ



カラスノエンドウ



カスマグサ



スズメノエンドウ



以上

会員からの投稿(1) 田村耕作

3/20の春日公園で観察したの苔類を、以前、コケの観察会で指導していただいた角正博先生に、助言をいただきました。

お尋ねの苔類の画像はジンガサゴケの雌器托(あるいは雌器床)です。雌器托は、簡単に言えば孢子体を支えている組織ということになります。雌器托の切れ込みの数は、孢子体を作るところまでやっとたどり着けた数と考え、しみじみ見入ってしまいます。成熟した雌器托をひっくり返してみると、まるで宇宙人の黒いぎょろつとした目のようなものが見えます。この孢子体をいつか春日公園の観察会で見せたいと思いながらなかなかうまくチャンスに恵まれませんでした。いずれ観察会でうまく出会うチャンスに恵まれることを願っています。なお、和名のジンガサゴケは、この雌器托の形が、武士が被る陣笠の形に似ているところから名付けられました。確かに絶妙なネーミングで、昔の先生方のセンスには脱帽するしかありません。では、取り急ぎお知らせいたします。角 正博



会員からの投稿(2) 志賀 壮史

SDGs の 17 の目標(その 6)

SDGs(持続可能な開発目標)の 17 の目標を少しずつ取り上げています。

今回は「11. 住み続けられるまちづくりを」(Sustainable Cities and Communities)」です。スラムの改善や交通システムの整備、大気や廃棄物の管理などと並んで、災害のリスクに対する理解や備えを呼びかけている目標です。

都市部での災害といえば河川の氾濫のことが思い出されます。

21 世紀に入ってからの名前が付けられた豪雨災害のうち、福岡県で被害があったものを挙げてみます。

2009 年・平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨__九州道崩壊で2名死亡

2012 年・平成 24 年 7 月九州北部豪雨__八女市星野村が孤立状態

2017 年・平成 29 年 7 月九州北部豪雨__朝倉市などで大きな被害

2018 年・平成 30 年 7 月豪雨__久留米市で広範囲に浸水

2020 年・令和 2 年 7 月豪雨__特に熊本県内で大きな被害

豪雨災害が頻発するようになり気候変動の影響が見えるようになってきた、そんな印象もあります。河川の氾濫など都市部の災害への対策は、SDGs の 13 番目の目標「気候変動に具体的な対策を」も併せて実現しなければ、都市計画や土木工事だけでは解決できない気がします。

(写真は本文と関係のない福岡市南区を流れる那珂川の様子です)



会員からの投稿(3) 田村耕作

福岡市役所の1階にいろいろと展示できる空間があります。3/21 国際森林デーに呼応して3/20(土)から3/25(木)まで、その空間を活用して、各種の保護活動を展開している民間の団体、個人、行政機関(20団体)の日頃の活動の様子を市民の皆様にお知らせする機会がありました。

ナイス福岡も活動の様子を広報する機会と考えて参加しました。その展示の様子が、右の写真です。会報くすのき3月号を展示しつつ、日本自然保護協会関係のチラシや入会案内を配布しました。

期間中、市役所の1階展示場を訪れた来場者数概算で1960名とのことでした。



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2020年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会に参加してみませんか?

次回の定例会は、令和3年5月14日(金)午後2時より事務局で行います。令和3年5月号の原稿は、5/11(火)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2021年3月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業した。

会員yさんから情報で、おきなぐさ(キンポウゲ科)の開花時期に合わせて、1人散策に出かけた。

山頂の近くに草スキー場が設けてある。そのスキー場の一角と山頂の数ヶ所に、おきなぐさ保護のための杭があり、杭と杭をヒモで囲んであった。この杭を設置し、保護に10数年取り組んでおられる五十嵐賢さん(筑紫野市在住)とその仲間の方に、お目にかかり、いろいろなお話を聞くことが出来た。保護を始めた頃は20株ほどになっていたそうです。現在は、このあたり全体で、200株ほどになったとのことでした。

株が減少した主な原因は、盗掘と人の踏みつけとのことです。何気なく写真を撮ろうとして、足元の小さな株を踏んでしまうこともあると思いますよとも言われた。基山の大切な生きもの、大事にしていきたいですね。



撮影:2021 03/22 佐賀県の基山標高407mにて 田村耕作